

# JAITI ニュースレター 2

Japan Agricultural Inservice Training Institute

JAITIとは、「日本農業研修協力団」の英文。  
Japan Agricultural Inservice Training Instituteの略文字の略で「ジャイチ」と呼びます。1989年、ネパール国で、実験研修農場と10年制学校の設立をもって始められました。農業を生活基盤とする、アジア・アフリカ諸国の農村地域社会の人々が、食料を確保することで「おなかいっぱい食べる幸せ」と、教育と公衆衛生の向上により、健康な生活を送る、自立心豊かな地球上の「友」になってほしいと願い、活動が展開されています。

発行 ジャイチ 発行人 菊池 健介  
住所 〒386-06 長野県小県郡武石村津456  
TEL0268-85-3465 FAX0268-85-3583



## みなさまの応援

## ありがとうジュンジュンごます

一人人として、無勝手流

に始めたジャイチの活動も、四十年、五十年先を見据えて、永続性を確立しなければいけないと痛感し、法人化を目指す方向に進み始めて、一年近くになりました。

法人化作業にあたり、まず最初の具体的行動としてジャイチの活動を広ぐ、みなさまに知っていただきご協力をお願いできればと、広報誌を昨年六月お手元へ届けさせていただきました。

時を待たずして、大勢の方々より、さまざまなお形のご協力のお申し出を受け、胸を熱くして勇気づけられています。衷心より厚くお礼申し上げます。

ここに、みなさまよりお寄せいただきましたご協力の心をご披露して、感謝申し上げますと同時に、これからさらなる応援をお願い申し上げます。

ネパール訪問するからと連絡くださり、手紙・衣類、重い種子類を運んでくださった方、ジャイチの関係者

が出発する時、沢山の荷物があるのを知って四時起きして成田まで自動車運転送ってくださった方、買物や連絡の使い走りをしてくださった方、貴重な時間と汗をありがとうございました。

寄付金をお寄せくださった方々には、一九九一年十一月三十日現在で、延六五〇人にも達しています。

・基金に維持費に事業費にとご指定くださった方、ご自由にお使いくださいとお申し出くださった方、毎月一定額を続けて送ってくださる方、小遣の10%を自動振替に組んでくださった方、予定外の収入があったらと臨時収入の金額を振込んでくださる方、ご自分のお店に職場に募金箱を置いてくださる方、友人知人に輪を広げてくださり何十人分も纏めて送金して下さる方、子供のおやつや衣類を自分で作るようにしたからこれだけ余りましたと言っ

て送ってくださる方……みなさまが思い思いに型に描かれることなく、ご協力くださっている事に、「一口いくら」の金額を決める型でなく、「基金・維持費のお祝い」で先に広報誌で申し上げます。

では規定がございませんので、ご自分でお決めください。のジャイチの考えがご理解いただけたと思大変

喜んでます。衣類・文房具・種子・苗木・道具類を又、長野の事務局用にと、机・椅子・FAX・コピー機・ストープ等々をお寄せくださった方ありがとうございました。ただここでひとつお願いがございまして。衣類は、保管場所が一杯になってしまいました。そこで現在は、ご寄付いただける衣類の目録のみ送っていただき、荷を送り出し、場所が空く度に送付戴く方法にしています。ご協力ください。

最後になりましたが、是等全てに当初より今回迄、小林栄・みよ子ご夫妻様始め、宝文社（小林様の経営する会社名）の皆様、ご家族の方々が一九九一年、活動資金の提供から上京時の宿、食事の用意、連絡場所としての電話・手紙類の受付、また、みなさまよりご寄付戴いた品々の受取、分類・管理、保管場所用にと、都内に一軒の独立家屋も用意くださり、その上事務所の土地、自動車を、あらゆる事に善意・奉仕等の言葉や文字では表わせないご協力で、感謝を以って厚く御礼申し上げます。

ジャイチ事務局長  
菊池 健介

# いよいよまど歩いています

## — 現在進行形のジヤイチ

### ▲一輪車の話▼

創刊号でお約束した「一輪車」のエピソードを今回お話ししたいと思います。

現在カカニ農場にある僅かな道具の中でもちょうほうな一輪車には、こんな経緯があります。

農場で仕事をしているネパール人の中に、以前、私（菊池）の家に寝泊りして、近所の農家で一年間農業研修をした者が三人います。

ある時、彼らから、仕事の効率を上げるのに、現在日本の山間地の農家で使われているゴムキヤタビラー式の簡易運搬車を買って持ってきてほしいとの要望がありました。彼らは日本にいる時、この車を実際に使っていて、とても便利なことを覚えていたのです。

「買って運んでくるのは、お金ですぐに解決できること。だけど、農場に持ち込んだ後の維持管理はどうするの？ 燃料はいつもあるの？（ネパールでは、ガソリン、軽油、灯油は全て配給制でそれさえも時々供給不足が起きます。因みに灯油は一家に一週間五リとの配給

で、この量で都市部の人々は家庭の全ての炊火をしなければならぬ。部品はとうするの？ 故障した時、修理は誰がするの？……」

これらの質問に対して答は返ってきません。つまり彼らはただ単に日本で見て使った、便利な機械をほしいというだけで、手にした後の維持・管理に関しては全く空白なのです。

病院で、村々で、街角で、新品同様、またはほんの少し手入れをすれば使える機械や建物が埃を被ったまま

放置されているのをよく見かけます。これらに共通することは日本を始めとする諸外国の援助によって与えられた物なのです。彼らの自立に本気で協力するのであれば、後々まで彼らで維持管理ができる物でなければなりません。

そこで私は、一輪車ならば、ネパール産の物をおちこちで見かけていたので一輪車でどうかと提案しますと、それでも良いから欲しいとのこと、用意する運びとなりました。次の訪問時に彼らは私が日本製の一輪車を持ってくることを期待していました。しかし私が日本より持ってきたのは、タイヤ部分のみでした。何故？

完成品を与えれば壊れても修理して使わずに新しい物をはしいと多分言い出すと判断したからです。タイヤがパンクしたら、

修理して使うことが可能なことを彼らは知っています。

だから、タイヤ以外の骨組を白を彼ら自身で製作すれば、壊れた時も修理できるのです。また、製作に必要な材料も容易にネパールで手に入るのですから。

たとえ、製作に時間がかかっても不格好でも、この方式が最良だと思えます。その国で部品を調達し、修理できなければ維持・管理は不可能です。

今も、一輪車は、彼らの管理の下、カカニ農場のために備えています。（菊池）

▲カカニ農場▼  
カカニ農場の段々畑を知ったきっかけは、日本農業新聞の記事でした。農業はまず現地の自然条件を知らなければと思い、六月と九月・十月にかけて各々十数日間という、非常に短期間の農場滞在ですので、思い違いもあると思いますが、この点はご了承ください。

農場は、標高一九〇〇m位で、北向きのネパール特有の段々畑で、農畜に一番重要な気象の面から見てみ

ますと、十月・五月が乾期で、六月・九月が雨期と云われておりますが、五月と九月は過渡期にあたると思えます。特に五月には、雹が数年に一度降るよう

で六月に行った時には、果樹や野菜に被害が出ていました。農場の気温は、下表のとおりですが、最高で三十二度、最低二度で、雪・霜共に無く、水も張らないよう

です。また、前期の日照は雹害があったとは云え、キウイフルーツはじめ果樹やナス、ピーマン等野菜類の生育状況からみて、余り期待できないように思われます。気温も年による差はありますが、以外と低いよう

です。

年間雨量は記録がありませんが、カトマンズの約一四〇〇mm、ポカラの約三二五〇〇mmからみますと、二〇〇〇mm程度か、それ以上ではないかと思われま

す。土壌も有機質に乏しく、保水力も弱く、浸透にも弱い

うえ、乾燥すると固くなる。雨期には土壌流失が多

く、畑の畦畔も崩れ易く、植林の必要性が叫ばれています。

附近の栽培作物は、水利施設が無い事を猪等動物の被害が多いため、トウモロコシ、大根、シコクビエ等で、一帯の近くに、ジャガイモ、サトイモ、小麦等

や自家用野菜が作られている程度で、乾燥、雨そして霜等による動物の制約を受けています。

現在、農場の基本方針の一つとして、適地作物の選択があります。サツマイモ、白菜、アスパラガス、ピーマン等が試作のなかでは、比較的良い成果が出ており、他にも大根、ニンジン、ゴボウ、ネギ、グリーンピース、露地苜蓿や各種葉菜類も栽培しております。

日本人が年間を通して常駐していないという環境下ですが、現地スタッフも野菜栽培に慣れてきており、その成果も近いうちに出るものと思われま

す。

また、カトマンズの野菜市場の店主も、農場の野菜には注目しております。

販売の面から見ましても現在の量では少なく、品目別に経済面も含めた、栽培基準作りが行なえれば、近隣農家への普及にも効果があるものと思

います。いずれにしても、スタートして二年半、一步一步のつくりではあります

が、歩んでおりますので、今後共ご支援の程よろしくお願ひ致します。

農業指導員 松浦 浩

農業指導員 生かし、

カカニ農場で指導員として活躍中。継続した取り組みが注目されてい

ます。



カカニの気温 (1991年度、1992年度、1993年度)

農業指導員 松浦 浩  
カカニ農場で指導員として活躍中。継続した取り組みが注目されてい

# ありがとうございました!

1991年5月16日～11月30日現在

(順不同・敬称略)

創刊号のあと、みなさまからさまざまな形の支援をいただいております。

一度のみならず、数回、または毎月のように応援して下さっている方もいらっしゃいますが、ニュースレターでのお名前

の表記は一回にさせていただきますことをご了承ください。

今回も郵便振替を同封いたしました。ご寄付いただける時にお使いくください。郵便振替用紙の通信欄に一言お願いいただければ嬉しいです。

## ◆基金協力者

果実となることを祈りつつ種を蒔いてくださり、ありがとうございます。いただいた基金は、信託銀行に預け、毎年、利息という果実を生むよう、育てさせていただきます。大切に育てさせていただきます。大切な種をありがとうございます。ありがとうございました。

阿久井喜孝、アルジュン、シン・トラチヤン&統子、五十嵐中学校(新潟市立)有志(運所儀二、斉藤剛、高梨和夫、高橋輝雄、吉沢克彦、高橋浩子、佐藤悦子、吉田昌子、本間弘史、浅田弘子、岡村順子、中町毅、横山義雄、佐藤泰、秋田博美、渡辺静男、田村典子、広瀬嘉一、市川幸夫、山崎理恵子、酒井昭治、勝見房子、相川カヅ子、逸見慶子、吉村アユ子、滝沢功、勝見寛、小沼泰高、田中香代子、牧野洋子、岡田孝、大竹洋子、佐々木幸枝、武田榮美子、伊藤奈子、小林伸、清水良行、石黒幸、大野高明、佐藤孝子、林健一、小林正弘、島岡健司、渡辺忍、高橋セイ、渡辺誠、遠見繁克、金子真理子、桜沢隆夫、板垣修悦、上原修司、海野賢一、尾内秀雄、折原ますみ、川上孝一、由枝、菊池幾、菊池三三、栗木恵津子、斉藤正和、佐藤澄男、重里美枝子、柳シーシロビー、

清水正、関富、関屋中学校(新潟市立)有志(佐藤良夫、佐藤英雄、荻野幸子、和田文彦、相明雄、北山勝美、斉藤フミエ、藤田泰寿、平野祐子、西村隆一、工藤一弘、坂井裕之、岩村敦、斎藤純、川上妙子、横山ソノ、筒井誠、白井一夫、渡辺進、本田統一、田中雅子、阿部繁、石見勝子、片桐啓雄、中野久江、稲村繁、横堀利之、竹内サキ子、玉木衛、東毛鶴農協同組合、取手ゴム工業、中島英男、中村任世子、西川正夫、橋本直大、敬子、日吉渉、本行輝雄、増澤忠寛、松本義寛、高原一史、知子、矢野昭敏、山田多佳子、吉田晴彦、若林司朗

## ◆維持費協力者

今日までの活動に必要な維持運営費をありがとうございます。ありがとうございました。おかげさまで、ここまで前進できました。活動の血液を今後ともよろしくお願いたします。91年ジャイオンツアー参加者の皆様、井口昌三、岩井道子、内野倉千枝子、岡崎真、小川金三郎、鎌田勝、上塚直美、小林栄、みよ子、斉藤英二、佐々木恵子、尾無浜博幸、敏美、田代芳美、田中盟三、田中光彦、手島毅郎、野上さよみ、平間勝

## ◆基金・維持費協力者

弘、吉岡正利、ルミテル、蔵野教会サフラングループ、相次徳一郎、青木高平、青木信明、青木満子、青柳邦彦、陽子、秋山恭子、横子、浅山清司、東越子、森生明佳、阿部章一、阿部四郎、筑木真一、安藤明恵、飯塚功、飯塚一明、津途晃、石井優、石川豊、石田穂、ミツ江、和泉晋也、市川秀市、ゆりか、翔太、幸佳、鈴奈、市吉伸行、猪爪頼子、岩崎吉一、植田豊、内田まゆみ、内田美代、梅井千鶴子、練エヌ、アイ、エス、大久保有佳、大友博武、大野寛機、大原捷郎、大平裕、近江幸治郎、岡田あおい、岡田俊夫、岡田伸太、岡村元子、小賢田正子、尾崎慎夫、小田慎利、藤合浩、小野親、小野元、小野寺敬規、片澤正次、荻原真、梶山順子、熊原暎子、金井忠史、神谷文代、茅整三、河合隆三、河田栄一、河野悦子、愛、川村輝治、菊田裕紀子、北久保容子、北村妙子、北本光子、岡山九州化学部山、清重慧子、早名木カオル、権田賢、倉信一、成、キミ子、栗原克、黒羽弘行、小池靖子、小泉悦子、小泉美穂、小柴寅、小林五十五郎、小林亨、小林克行、小林美智子、小松重雄、小山佐都子、小山富義、時代、小山芳江、





植根正輝、西栗啓司、斎藤弘、須藤茂、須藤俊古、米原代、斎藤たづ子、阪本明子、坂本富美子、坂井道子、佐々木正吉、佐々木謙一、佐瀬万寿、佐藤清、教子、佐藤と子、佐藤清、佐藤安弘、里美登、沢田三郎、沢田佐知子、白鳥製佐良、尻無洪博、信州ミサワホーム、新谷和敏、杉本満男、杉山純子、鈴木栄三郎、鈴木牧子、鈴木道子、鈴木義弘、須藤茂、須藤俊古、米原代、斎藤たづ子、阪本明子、坂本富美子、坂井道子、佐々木正吉、佐々木謙一、佐瀬万寿、佐藤清、教子、佐藤と子、佐藤清、佐藤安弘、里美登、沢田三郎、沢田佐知子、白鳥製佐良、尻無洪博、信州ミサワホーム、新谷和敏、杉本満男、杉山純子、鈴木栄三郎、鈴木牧子、鈴木道子、鈴木義

保徳、林克之、原仁、尤子、原幸比古、久田幸宏、平塚元由、福田久美子、福田敏子、藤沢ふさ子、藤野ふみえ、藤原純子、藤巻信四郎、藤山正年、舟波康行、吉川頼子、保泉誠一、スナックボケット、星野宏、船田圭一、堀邦高、教子、前田晴彦、前野淳一郎、牧野和子、牧野公子、松井純一、松田一良、松本伸一、丸山甲子三、丸山正徳、三上佳子、三澤和人、水口馨、三澤信吾、水上敏、肇英子、宮崎政雄、迎明、ひとみ、持山保信、森甲志、優子、森精、寿子、森直道、若奈、八木下克己、矢崎繁文、矢鳥登志子、安田五十鈴、安田晴彦、山口孝行、山崎隆司、山敷真知子、山下ひろみ、山科直治、山科誠、山本健、由井直人、横溝潔、ルーテル武蔵野教会いすとどグループ、和田真理子、渡辺隆一、渡辺俊子、渡辺博子

々の品物を提供していただき、ありがとうございました。物を通してのぬくもりを感じます。「心」をありがとうございました。

91年ジャイネットアミー参加者の皆様、天野登紀子、新井正人、池田誠一、弘子、井上繁子、一之瀬秋男、石橋延子、猪爪範子、今井宏高、ひろみ、岩穴口三代子、岩間原子、伊東明子、内田まゆみ、内田美代、榎本京子、渡藤富枝、太田大枝、大三昌子、大山純子、岡田俊夫、尾形敏子、岡部第一郎、恵美子、小川有子、小野寺康之、折居泰枝、金沢ひろみ、金田要子、賀川俊彦、林谷文代、河田庸夫、倉知芳明、小林弘、小林富子、小山晴代、小山英明、小泉喜久次、木村昌子、斉田正子、柴田佐愛子、柴田三恵子、柴田泰子、清水裕子、白鳥製佐良、志穂雅美、関本敏、立枝光子、田村純二、堤良子、那口謙子、中島榮子、中島信子、中村典子、中村運太、那須高等学校三年二組の皆様、城日賀、浜恵美子、船越香子、平塚元由、福田久美子、福田好枝、藤巻信四郎、本田品子、本田幸子、堀邦高、景子、松永昌子、三浦伊代子、翠川逸明、宮沢幸子、宮田セツ、村田あやみ、村越寿子、森本紀美子、矢鳥登志子、山科直治、山下ひろみ、安

田晴彦、吉田美津江、柳吉本、渡辺寿子、渡部幸子

表者のお名前を、同時にいただいておりますが、代表者の氏名のみ、或は、法人、団体名のみ掲載という、片手落ちをしました。

ここに、改めて掲載いたします。

（菊池）

◆事業費協力者  
新たな目的のためにと応援費用をありがとうございます。必要な時のために備えさせていただけます。

◆寄付品提供者  
農場のために、学校のために、事務所のために、教

◆協力者名の補正  
法人名及び、団体名の掲載で、法人、団体名を、代

「お詫びと訂正」  
創刊号で北村妙子様のお名前を「妙子」と掲載いたしました。

お詫びすると共に訂正願います。

▲法人化にむけて▼

創刊号第一面に、ジャイチの活動を継続的に進める体制作りのために、財団法人設立の主旨を記しました。今回、法人化にむけて、どのような方向で準備をすすめているのか、簡単にご報告申し上げます。

一九八九年、ネパールに実験研修農場をもって始めましたこのジャイチの事業を、なぜ公益法人として認可をとる必要があるのか、また、公益法人として動き出すとき、どのような具体的な事業計画をもって展開していくのかという点につきまして、まず整理をし、そ

してこれに傾いた設立の認可をうける事務官庁の調整を行ってまいりました。

一連の準備を通して、ジャイチの事業活動の基本は日本人の協力で、生きる為の基本である「食すること」の生産現場の農村地域社会と農業への水統的な関わりにあります。この水統的に人々の熱望に応え、活動を長く、かつ、充実させていくためには社会的存在として、財団法人設立が必要不可欠になって参った理由です。そして、農業指導「食すること」の開発協力等を通して、農村地域社会をもつ国々の親善友好発展に寄与することを長野の地から

起こすことを考えますと、長野県知事認可の法人設立が適切かと思ひ、現在、その方向で準備をしているところであります。

今後、ジャイチの活動基本理念の必要性を広く理解していただき、公益性と実現性をもつた、あるべき公益法人として、県の担当官の指導を隔りつつすめていく計画をもちっています。

これまで、財団法人設立基金として、ご協力くださいましたお支えに心より感謝しつつ、実となるよう努力いたす次第であります。何卒、今後共、よろしくお願い申し上げます。

事務局 尻無浜 博幸



ネパールから  
1番今に近い情報を  
お伝えするコーナーです

▼民主革命後のネパール

民主革命後、ネパールでは経済状態が不安定になっています。ネパール国会によって運営される新民主政府は、政治を行うのに以前の経験を活かしていませんので、その結果、市場価格は殆ど操作

できないものとなり、必需品(日用品)の市場価格は急激に上がっています。ごくふうの平均的なネパール国民は、現在の経済状態を考慮し続けながら、革命を後悔しているように見えますし、現在の民主政府を喜んでいないようにも見えます。

しかしながら、政府は国民に、もう一年待つように依頼しています。その一年の間に、状況を改善し、すべてがうまくいくように最善を尽くすつもりであると述べています。

国民の要求に応じて、首相のG・P・コイララ氏はネパールの貧しい経済状態を改善するためにインドへの援助を求め、訪印し、その目的をほとんど達成しました。ネパールとインドの間で条約が調印されたのです。その条約は、貿易と輸送に関するものです。

ネパールはご存じの通り陸地に囲まれた国ですから輸送に関わるインドの援助に頼るほかないのです。ですから、他国との貿易をすすめるにしてもインドとの関係をスムーズに保つことは大変重要なことです。

以前の政党がなかった政治体制下では、ネパールは二国間の不公平な関係のために貿易は難しかったのです。インドによるネパ

ルの貿易と輸送の封鎖) そこで、過去の経験を考慮しながら新民主政府は二国間の関係をできるだけよい状態に保つよう努めています。

首相の訪印の結果、インドとの関係は改善され、インド政府はネパールとネパールの貧しい経済状態に同情的になりました。

より多くのインドの実業家や工業関係者は、合弁事業としてネパールの工業分野に投資するよう奨励されているのです。外国からの投資制度が民主革命以前よりもより簡単な手続きになりましたので、それに応えて、大手の実業家や工業関係者(特にインド)が合弁事業の下で、ネパールへの投資に興味があると述べています。彼らが投資する分野としては、セメント、砂

鉄、観光旅行、農業などでしょう。

しかしながらこれについてはみんなが喜んでいないわけではなく、反対派の政党は、今回の首相の訪印と条約を快く思っていないようです。

反対派政党のひとつであるネパール共産党は政府がネパールの現在の経済政策の変化に関わることを批判し、また、そのような手段(インド人による投資)はインド国民とインド政府を富ませただけだと批判しています。

ネパール事務局 ナワン・シェルバ

① 七つまいも物語

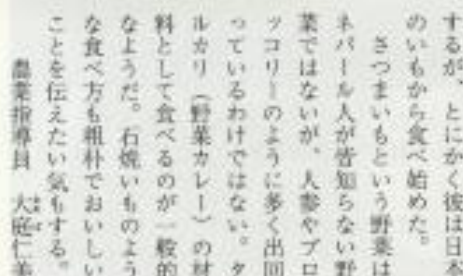


カカニ農場の実験作の中で、七つまいもは主役級に相当しています。今回より三回シリーズで七つまいもにまつわる話をお伝えいたします。

◆ ◆ ◆  
一昨年、五つのいも(ベニアズマ)からこの収穫は行われた。約一週が収穫期には九〇度のいもになった。これは、彼らにとっても大さなできごとだったろう。

さつまいもに目をつけたのは以下の理由からだ。  
○自給自足が可能  
○肥料がいらない  
○保存が可能  
○雨に強い(雨手に流れる)

○栄養満点  
「おなかいっぱい食べられる」幸せをこれによって達成することもできるかも知れない。さつまいもは、いもを食べられるだけでなく、ツルも食べることができ、牛のえさにもなる。さらには四季(五月・九月)にいものツルが茂っている土壌浸透を防ぐこともで



さつまいもという野菜はネパール人が皆知らない野菜ではないが、大衆やプロツコリーのように多く出回っているわけではない。タールカリ(野菜カレー)の材料として食べるのが一般的だろう。石焼いものような食べ方も粗朴でおいしいことを伝えたい気がする。

Handwritten text about climate and agriculture in Nepal. Includes a drawing of a palm tree and the text: '南北200kmしかない国なのに標高は何と1000mから8848mまで。だんだん熱帯地帯〜極東地帯まであるのです。自分自身に合った気候を選んで作物を栽培してみるのはいい。この事を想像してください。おけなシオガザン仲は並んではおぼ。動物: 牛、羊、ワニ、トラ... そして山には雪だ(7)がいます。どうですか? 百聞は一見に如かず...? "ネパールはいい、とあなたは思うでしょう。熱いネパール、寒いネパールもあるのです!"

農業指導員 大庭仁美

# 一九九一年 ネパール二つの旅報告

## ●異文化探険隊

### ネパールに行く

夏休みの十五日間をネパールで過ごした小中学生は事務所から近い所に住んでいます。何度かの打合せ会の後、探険隊は出発しました。彼らの作文の中から山口拓さんの文を紹介します。

ぼくたちは、ネパールのシンパンジャンという所に行きいろいろな物を見てきました。一番始めにおどろいたことは電気がないということです。(一略)そこで電気の代わりにつかっているのがソーラータラップでした。

電気ほど明るくはないけどシンパンジャンの人達にとつては大切な家の財源です。

二番目におどろいたことは、日本は食事を作るのにガスレンジで料理するけどシンパンジャンにはありません。自分たちでかまどを作りそこで料理するので、まさで作った料理とガスで作った料理では味がちがいました。……日本にくらべればおくらでる国だけど、ぼくはネパールはいい国だと思えます。(二略) 中一 山口 拓

探険隊の少年たちは、自然と、そして新しく出会った人々との触れ合いを通して、からだいっぱい素晴らしい経験をしたようです。

## ●一九九一年ネパール

「農場と学校」訪問の旅「百問は一見にしかず」のことば通り「訪問の旅」のメンバーは数々の出会いを通して良い時間を持つことができました。

十一月八日から十六日までの九日間の旅で様々な感想を持たれたことはお奇せいただいたお便りから伺われます。

一九歳から七十一歳までの自称「仲の良い大家族」訪問団「これを機会に自己課題を持ってこれからの活動を考えていきたい」と話すメンバーもあり、近々思いついたことをまとめる予定です。

尚、一九九二年訪問の旅は十一月の同時期に予定しています。

## 伝言板

●今回は、いくつかボランティアで関わってくださる方をお願いいたします。

①ネパール第二の都市ボカラにセタイ用水路がありまます。そこは今まで壊がなく、大変危険な状態でしたが昨年の九月にジャイチで取壊して橋を作り直しました。作っ

## 基金・維持費のお願い

JAITIの活動をいつも心に留めてくださり、感謝申し上げます。運営されている財源その他について説明とお断りを以下のように記しましたのでご覧ください。

1. JAITI基金——財団法人JAITIの基本財源を確保  
基金を信託銀行で運営し、その果実(運営費)でJAITI活動の基本部分を確保することを目的としています。密帳簿、多年草、果樹のようなものです。  
●基金が大きくなればなるほどJAITIの財源が豊かになります。  
●基金へ寄付していただいたお金は何十年何百年あともJAITIがある限り、寄付者名と共に残って行きます。
2. JAITI維持費——JAITIの運営維持費  
基金から生み出される財源では只今のところ活動に不足を来します。そこで今必要な活動に使わせていただく目的のものです。一年草のように暮らして秋に収穫して終わります。  
●基金が充分大きくなれば、必要のないものです。  
●当分の間、この維持費はJAITIの活動に欠かせない費用です。
3. JAITI事業費  
新たに大きい費用のかかる事業を計画した時にその応援費用として確保することを目的としています。  
●通常の予算(JAITI基金の果実、JAITI維持費で組まれる)では賅いきれない時に随時に集める目的寄付金です。  
●必要な時に皆さまにお願いのお知らせをさせていただきます。

JAITIでは上の3つのような形でご寄付をお願いしております。何にご寄付いただいたのか、お教えくださいますと幸いです。もしも特にご希望のない場合は基金と維持費に半分ずつ使わせていただきますのでご了承ください。

振込先 郵便振替 長野3-42434 ジャイチ  
住所 〒385-05 長野県小県郡武石村沖456  
電話 0268-85-3465 FAX 0268-85-3583

尚、全額に関しては規定がございませんので、おひとりおひとりご自分でお決めくださいますようお願い申し上げます。(例えば、収入の1%を、お小遣の1%を、約的な考えはどうでしょうか?)

## 編集後記

ボットへの協力金額は十一月三十日現在二九、九五五四でした。基金に加えさせていただきます。

●事務所内の店「カカニ」からのお知らせです。寒い冬に、心まで暖かくなりそうなたぬき毛のセーターやショールをネパールから入荷いたしました。軽くてとても暖かいので好評です。

●いろいろな方からジャイチへの励ましのお便りや、ニュースレターの感想などお寄せいただいで、本当に元気が出ます。今後共よろしくお断り申し上げます。

たけれど、あとはそのままということはいいたくない。そんな気持ちもブラスされてはいますが年に一回はペンキ塗りをして、良い状態で使っていただきたいと思つています。ペンキ塗りのボランティアのためにネパールのボカラへ行ってくださる方、ご連絡ください。

●事務所の中にチャリテイ「ボット」を置いてあります。助けるたびにおこづかいを入れてくださることもや、近所の方たちに感謝していただきます。そんな折、「チャリテイカン」を作つて家や職場に持ち帰れないだろうかと言われました。

●コヒー豆の空き缶をたくさんいただいたので「チャリテイカン」を作りました。事務所内にありますのでご希望の方はお待ちください。尚、事務所のチャリテイ

冬の星が美しく輝く季節になりました。暖かくした部屋の中から外に出るのはほんの少しの勇氣(う)が必要ですが、出てしまえば部屋の中には味わえなかつた悪いを感じることができません。さまざま形でごチャイチを応援してくださっているみなさまの思いのようです。

新しい年を迎え、ジャイチもより活発に、しかし、より着実に動いてゆきたいと思っております。みなさまのご健康をお祈りし、また、感謝しつつ、一九九二年もよろしくお断り申し上げます。(小田原)

